

操業中止はムリ

水俣病 厚生省当局が言明

参院社会労働委員会（加藤武徳委員長・自民、岡山）は十九日午前十時四十分から開かれ、坂本昭（社会、高知）高野一夫（自民、全国）両氏が原因究明問題について質問、聖成厚生省環境衛生部長藤岡通彦工業用水課長はつぎのように語った。

▽聖成環境衛生部長「水俣病原因究明に政治的圧力が加えられた事実はない。原因究明は最終的には工場廃液と有機水銀との関連が明確になるまでやらなければならない

い。現段階では新日本窒素の操業をやめることはムリである。無機水銀が有機水銀にかわる原因を追及するのはむずかしいが、世界に例がないので日本科学陣のメンツにかけても究明したい。

▽藤岡工業用水課長「新日本窒素工場と同様に無機水銀を使っている工場は塩化ビニル関係十六、アセトアンヒドト関係七工場があるが、問題は起きていない。汚水処理の方法も他工場とほぼ同じである。